

「手話による消化管撮影」 —ろうあ者のバリウム検査について—

船員保険北海道健康管理センター 放射線科 澤田千恵

日消検会員の皆さまこんにちは。

今回、上記のテーマで投稿する機会を頂きました。

手話検定 3 級の私が、偉そうな事を云うのもどうなのかな…とも思うのですが、ろうあ者の検査に際し、少しでも参考にさせていただければという気持ちから執筆致します。

ろうあ者のバリウム検査は、特に対応が難しいと聞きます。僭越ではありますが、私の検査法と注意点を述べさせていただきます。軽い気持ちで読んでいただければと思います。

① 挨拶について ②検査の説明 ③検査中の指示 ④検査終了後について

①挨拶について

耳の聞こえない方が検査を受ける場合、皆さんはどのように対応していらっしゃいますか？

健聴者が受ける場合と比べ、簡単に済ませてしまう 場合が多いように感じています。私は、ろうあ者の場合も通常どおり、健聴者と同様に(精度を落とさないよう)検査を行うように心掛けています。ろうあ者が健聴者と比べ、癌の罹患率が低い訳ではない為です。

バリウム検査はコミュニケーションが大事と言われています。挨拶は基本です。もし、「どうせ聞こえないし」と省いてしまっていたとしたら良くないと思います。(対策型でどうしても時間が取れない場合を除いて)最初の段階で、コミュニケーションを取るせつかくのチャンスを失ってしまう事になりますよね。

たとえ手話を使わなかったとしても、(ろうあ者は「カン」が良いですし、口も読みますので)笑顔でしっかり挨拶していただければと思います。マスクは出来ればはずしてください。

そしてもちろん、こちらから手話で挨拶すれば、もっとコミュニケーションは取り易くなりますよね。ということで、挨拶の手話です。

★おはようございます(table1 参照)

「朝」という手話(頭の横でグーを作って下に下ろします。枕を外す動作です)の後に「挨拶」の手話(両手の人差し指を、向かい合わせに立ててから曲げます)を付けます。

★こんにちは(table2 参照)

「昼」の手話(人差し指と中指をオデコに当てます。顔を時計に見たてています)の後に、「挨拶」の手話を付けます。

★よろしくお願ひします(table3 参照)

「良い、吉」という手話(グーを鼻から斜め上前に出します)に、「お願ひします」拝むポーズを付けます。

おはようございます。よろしくお願ひします。の手話、実際にやってみて下さい。

できましたでしょうか？

まずはこの手話で挨拶するだけでも良いのではないかと思います！



★Table1 おはようございます

★table2 こんにちは

★table3 よろしくお願ひします

②検査の説明

当センターでは待合室(施設およびバス)に、検査の簡単な説明イラストを用意しています(●Fig1 参照 ラミネート加工して使い回しています)。また検査説明の DVD を作成し、待合室(同様)で放映しています(残念ながら字幕はありません)。検査中に全部を説明し理解してもらうのは時間がかかります。ボランティアで行う訳では無い為、一人だけに時間をかけられないのが現実です。かと言って、内容を理解しないまま始めてしまうと、検査の質の低下に繋がります。

DVD を見てもらうと、右回りで3回転まわってもらうこと、逆傾斜がかかること、など口で説明するのも難しいような事を、検査前に簡単に理解してもらう事ができます。(ろうあ者の方が、健聴者より熱心に DVD を見ている気がします) そうは言っても DVD なんて無いよ…という施設の方は、説明イラストを作っておいて、待ち時間に見てもらう事をオススメします。当施設では、要点だけ記載して作っています。もし良ければ、参考にしていただければと思います。

③検査中の指示

難しく考えてしまうと思いますが、メインの手話だけ押さえておけば、後はジェスチャーでたいてい通じます(事前に説明イラストを読んでいるため)。例えば「発泡剤」なら、お腹の付近で両手を風船が膨らむように広げていき、「薬」という手話(★table 4)を付ければ通じます。「飲む」なら飲む仕草をしてから飲む物を指差します。右や左も実際の方向を指差

しします。

メインで使いそうな手話を幾つか挙げておきます。★table5 息を吸う・吐く（人差し指と中指を軽く曲げ、鼻に近づける or 遠ざける） ★table 6 止める ★table 7 げっぷ我慢

★table 8（手すりを指さして）つかむ ★table 9 くるっと回って上向き

★table 10 痛い ★table 11（台を指さして）上がる

私は撮影室に入って撮影してしまう場合もありますが、遠隔で行う時は、常にこちらを見てもらうよう説明し（「見る」の手話★table12、見る方向に、軽く曲げた人差し指と中指を向けます）ジェスチャーと手話で操作卓から指示を出します。

大事なのは検査をしっかりと行う事です。手話の上手下手、正しいかどうかにはこだわらず、伝われば良いので、ちょっと大袈裟に身振りで表現してみてください。

回る時は指をクルクルっと回してみたり、まっすぐ上を向く時は手を上向きにする、こちらを向いて欲しい時はこちらを指差しするなど（抵抗あるかもしれませんが手話の常識では、指差しは悪い行為ではありません）。

検査で一番大事なのは、十分に透視観察を行い、病変がないかしっかり確認する事です。もしかしたら語弊があるかもしれませんが、透視観察で「病変が無い」事をしっかり確認出来れば、多少の体位の甘さや、少しの息ブレに拘る必要は無いと思います。当然ですが病変を発見したらその部分はしっかり撮影する必要があります。ですが、微妙な体位で撮る事に必死で、透視観察がおろそかになってしまうのはナンセンスだと思います。この場合の目的は「キレイな写真を撮ること」ではなく、ろうあ者の「早期胃癌を発見する事」にある為です。



★table 4 薬

★table 5 吸う・吐く



★table 6 止める



★table 7 げっぷ我慢



★table 8 握る



★table 9 くるっと回って上向き



★table10 痛い



★table11 上がる



★Table12 見る

④検査終了後について

検査が終わったら、お疲れさまでした(★table13 参照)と検査協力への感謝の気持ちを伝えていただければと思います。手話は簡単ですのでやってみて下さい。ぐーで腕をトントンとたたきます。

下剤の説明については、説明文を下剤に添付して渡すのが良いと思います。(一応下剤の手話を載せておきます★table14)

以上、ろうあ者のバリウム検査について、私が行っているおおよその事を説明しました。ここまで読んで頂きましてありがとうございました。拙い文章で皆さんにきちんと伝わったかどうか心配ですが、耳の聞こえない方が受診に来た時、ちょっとだけでも思い出していただければ幸いです。私自身もこれかもっと研鑽して、胃がんの早期発見に向けて頑張っていきたいと思います。ちなみに、手話検定 3 級はそれほど難しい資格ではありません。興味をお持ちになった方はお近くの手話サークルに通ってみたら如何でしょうか？ 2 年位通って世間話が出来るとなれば、すぐ取得できますよ～



★table13 お疲れ様でした



★table14 下剤



●fig1 検査説明イラスト (吹田沙織 作成)